

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	4単位
科目コード 606205	リストコース	授業期間	前期
科目名 接客対応スキルA			

担当教員(代表)：門元 伸子

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 時代に合わせ、対面接客・オンライン接客、双方の接客対応スキル習得を目指す。
 対面接客・オンライン接客の価値や満足度をお客様視点で考え、実践に繋げていく。
 SOC（首尾一貫感覚）の高い人材を育成する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類

1. オリエンテーション
2. 自己紹介・他己紹介
3. 第一印象、笑顔、アイコンタクト、挨拶、立ち居振る舞い
4. 購買心理の8段階
5. 動的待機
6. おたたみ
7. ファーストアプローチ（対面・オンライン）
8. セールスポイントとセールストーク
9. お聞きだし、受け止め、共感
10. 商品の見せ方、羽織らせ方、鏡の使い方
11. アフターケア
12. 試験（ロールプレイング形式）＝対面接客・オンライン接客2パターン実施
13. 理想の販売員像
14. サービスチェック（
15. ダイレクトメール、サンキューDM
16. お気に入りコーディネート（プレゼンテーション）
17. 相手プロデュース（プレゼンテーション）
18. イチオシ商品（プレゼンテーション）

評価方法・対象・比重（試験3：出席状況4：取り組み姿勢3）

ロールプレイングによる実技試験、出席状況、授業への取り組み姿勢による操業評価 英字評価

主要教材図書

参考図書 大「顔」展図録、女性の美しいマナー、一般社団法人足と靴と健康協会

その他資料 朝日新聞

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 門元伸子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単位	3単位
科目コード 606206	リストコース	授業期間	後期
科目名 接客対応スキルB			

担当教員(代表)：門元 伸子

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
時代に合わせ、対面接客・オンライン接客、双方の接客対応スキル習得を目指す。
対面接客・オンライン接客の価値や満足度をお客様視点で考え、実践に繋げていく。
SOC（首尾一貫感覚）の高い人材を育成する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 前期復習
2. フィッティング
3. クロージング
4. お見送り
5. 金銭授受（現金編、カード編）
6. 金銭授受試験
7. パーソナルスタイリング
8. ラッピング（包装紙、リボン、ロールプレイング）
9. お直し（パンツ、スカート、ジャケット、伝票記入、ロールプレイング）
10. 靴のフィッティング
11. クレーム
12. 試験（ロールプレイング形式）
13. ネクタイ、チーフ、スカーフの着せ付け
14. クレジットカード・領収書の取り扱い
15. 贈答マナー
16. お気に入りコーディネート（プレゼンテーション）
17. 相手プロデュース（プレゼンテーション）
18. イチオシ商品（プレゼンテーション）

評価方法・対象・比重（試験3：出席状況4：取り組み姿勢3）

ロールプレイングによる実技試験、出席状況、授業への取り組み姿勢による操業評価 英字評価

主要教材図書

参考図書 大「顔」展図録、女性の美しいマナー、一般社団法人足と靴と健康協会

その他資料 朝日新聞

授業の特徴と担当教員紹介

ショップスタイリストとしての立ち居振る舞いから対応までの知識と実践力を身につける

SOC（首尾一貫感覚）の高い人材育成

担当教員：川井佐江子

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター（プライマリー）取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター（幼児子ども）取得

一般財団法人 日本教育推進財団監修 日本コミュニケーション能力認定協会 コミュニケーション能力検定2級取得

記載者氏名 川井佐江子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	2単位
科目コード		リストコース		授業期間	通年
		科目名	オンライン接客スキル		

担当教員(代表)：門元 伸子	共同担当者：
----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 時代に合わせ、対面接客・オンライン接客、双方の接客対応スキル習得を目指す。
 対面接客・オンライン接客の価値や満足度をお客様視点で考え、実践に繋げていく。
 SOC(首尾一貫感覚)の高い人材を育成する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

画面越しに伝えるスキルの習得

- ・オンライン接客の現状把握
- ・自身が考えるオンライン接客のあり方とは
- ・チームとしてオンライン接客のあり方を考え、ロールプレイングで発表
 - 1 コーディネート動画プレゼン 2回
 - 2 インスタライブ型接客 2回
- *インスタグラムにて公開予定

評価方法・対象・比重(試験3:出席状況4:取り組み姿勢3)

ロールプレイングによる実技試験、出席状況、授業への取り組み姿勢による操業評価 英字評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年ショッpstayリ	単 位	1単位
科目コード 948000	ストコース	授業期間	前期（集中）
	科目名 接客実務		

担当教員（代表）： 株式会社ビームス	共同担当者： 門元 伸子
-----------------------	--------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
株式会社ビームスで行っている講義と実践で学ぶことで、将来のショッpstayリストになるための意識づけとファッション業界で働くための即戦力となる人材を育成する。
（計3日間、15コマ）

- 1 オリエンテーション
- 2 ビームスオフィス見学
- 3 店舗リサーチ
- 4 フィードバック・まとめ
- 5 グループディスカッション
- 6 プレゼンテーション
- 7 フィードバック・まとめ
- 8 中間セッション準備・店舗リサーチ
- 9 グループ発表
- 10 講義 接客マインド
- 11 講義 接客のその先、接客のプロとは
- 12 講義 販売員の本質
- 13 最終個人プレゼンに向けての準備
- 14 最終個人プレゼン
- 15 振り返り

評価方法・対象・比重 S～C・F評価 評価基準：学業評価50%（プレゼンテーション・レポート等） 授業姿勢50%（出席状況・授業に対する参加度）

主要教材図書
参考図書
その他資料
記載者氏名 門元伸子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通科 2 年ショップスタイリストコース	単 位	3 単位
科目コード	100400	科目名	アパレル商品論	授業期間	(通 年)

担当教員(代表) : 久保田智美	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションアドバイザーになるために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。

1 年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称などの知識をより深く理解し、売り場などでお客様に伝える商品知識の習得が目標。また国家試験の接客技能検定 3 級やフォーマルスペシャリスト検定準 2 級の対策を行い、合格を目標とする。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1, 2	オリエンテーション・アパレル総論、概要 アパレル商品の柄の知識①	27	ニット&カットソーの知識③
3, 4	アパレル商品の柄の知識②	28	フォーマルウェアの知識①
5, 6	アパレル商品の柄の知識③/サイズについて	29	フォーマルウェアの知識②
7, 8	ボトムの知識① (パンツ) / 国家試験対策	30	フォーマルウェアの知識③
9, 10	ボトムの知識② (パンツ) 国家試験対策 (衿ぐり、衿の名称)	31	フォーマルウェアの知識④
11, 12	ボトムの知識③ (スカート) 国家試験対策 (袖、袖ぐりの名称 シルエットの名称)	32	ジャケット・スーツの知識①
13, 14	国家試験対策 (ジャケット・スーツ・コート)	33	ジャケット・スーツの知識②
15, 16	ボトムの知識④ シャツ、ブラウスの知識①	34	ジャケット・スーツの知識③
17, 18	シャツ、ブラウスの知識②	35	コートの知識①
19, 20	シャツ、ブラウスの知識③	36	コートの知識②
21, 22	シャツ、ブラウスの知識④	37	コートの知識③
23, 24	ニット&カットソーの知識① ランジェリー・ホームウェアの知識	38	コートの知識④
25, 26	ニット&カットソーの知識②	39	アパレル小物の知識

【評価方法】 S～C・F評価 評価基準:試験 30% 課題 30% 出席・授業姿勢40%

商品知識(デザイン、特徴、素材、構造など)について授業内容を確認、筆記試験を行なう。

(主要アイテムについての課題、授業内ミニテスト、前・後期試験と出欠・授業態度)

主要教材図書	文化ファッション体系ファッション流通講座②コーディネートテクニク アパレル編Ⅰ (商品知識) 文化ファッション体系ファッション流通講座①コーディネートテクニク アパレル編Ⅱ (商品構成)
参考図書	ファッション辞典 服飾図鑑、テキスタイル辞典
その他資料	国家検定資格 接客販売技能検定対策講座テキスト 日本フォーマル協会 フォーマルウェアルールブック

記載者氏名 久保田 智美

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 F 流通科 2 年 ショップスタイリストコース	単 位	2 単位
科目コード 701660	科目名 セールスコーディネート	授業期間	通年

担当教員(代表)：黒沢友美

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ① セールストークに求められるコーディネートの基本的な知識と技術を理論と実践を通して学ぶ。
- ② 客観的な視点に立ったコーディネートが組める。
- ③ コーディネートを論理的に捉えることで感性の理論化を目指す。

◇課題設定

1. テーマに沿ったコーディネートを実践すること：情報を収集する、表現方法を練る、具現化する
2. コーディネートは客観的視点であり、論理的に捉えた解説であること
3. 成果発表で評価を受けること：課題ごとの考えや具現化したものを相手に伝え他者評価を受ける

◇授業概要（全28コマ）

1. オリエンテーション×0.5

「似合うとは」を考えコーディネートの本来の意味を理解

2. アクセサリーに視点を置いたコーディネート×5

ネックレスの扱い方と装い。デザインと体格とのバランスを理解

5W1Hでネックレスに視点を置いたコーディネートを立案●リサーチ、実践、発表（課題）

※夏季休暇課題

3. 素材に視点を置いたコーディネート×4.5

同素材・異素材・柄のコーディネートの特徴を理解

5W1Hで素材に視点を置いたコーディネートを立案●リサーチ、実践、発表（課題）

4. アクセサリーに視点を置いたコーディネート×4

眼鏡・サングラスの扱い方と装い。眼鏡・サングラスのデザインと顔型とのバランスを理解

5W1Hで眼鏡・サングラスに視点を置いたコーディネートを立案●リサーチ、実践、発表（課題）

※夏季休暇課題

5. 体型カバーに視点を置いたコーディネート×8

錯視効果を体型カバーに活用、体型の悩み別コーディネート企画、実践、発表（課題）

6. 骨格診断&着回しに視点を置いたコーディネート ×6

3骨格タイプの特徴を理解、身体的特徴を理解

主力アイテムを軸にした組合せを3つのポイント押さえて企画、実践、発表（課題）

※冬季休暇課題

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準：

出席日数（10%）、プリントノート（10%）、課題（40%）、プレゼンテーション（10%）、試験（30%）

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑦コーディネートテクニック演出編

参考図書 文化ファッション大系ファッション流通講座④コーディネートテクニックアクセサリー編 II

その他資料 一般社団法人骨格診断ファッションアナリスト認定協会骨格診断ファッションアナリスト公式テキスト

記載者氏名 黒沢友美

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科 2 年ショップスタイリストコース	単 位	1 単位
科目コード 602000	科目名 売場計数	授業期間	後期

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します）

ショップスタッフとして必要となるショップ計数についての基本的な知識の修得を目標とする。

店メンバーとコミュニケーションを取る上で必要となる計数用語を理解し、計算演習を通して日々の計数管理業務が最低限でできるようになることを目指す。

回数	内 容	方法	コマ
1	計数の持つ意味、商品の価格構造、売場計数の基本、売上高、上代、下代、掛率、プロパー	講義・演習	1
2	マーケットの認識、売場の理解	講義・演習	1
3	入店客数、買上客数、客単価、買上率、商品単価、セット率	講義・演習	1
4	売上高の構造、数字を意識する意味	講義・演習	1
5	確認テスト	講義・演習	1
6	仕入れ（仕入条件と掛率の関係）	講義・演習	1
7	値入高（率）、粗利益高（率）、ロス高（率）	講義・演習	1
8	月初在庫高、仕入高、売上高、ロス高、月末在庫高の関係	講義・演習	1
9	確認テスト	講義・演習	1
10	予算比（達成率）、前年比、構成比、電卓の使い方①	講義・演習	1
11	販売効率（人効率、坪効率、㎡効率）、電卓の使い方②	講義・演習	1
12	報告書の書き方、電卓の使い方③	講義・演習	1
13	授業内容のまとめ	講義・演習	1
14	確認テスト	講義・演習	1

評価方法・対象・比重

S～C・F 評価 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

売場で必要になる計数の基本知識を学び、コミュニケーションツールとして活用できるようにする。講義と計算練習を通して理解を深める

担当者：薫森三義（文化服装学院 専任講師）

記載者氏名 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通科2年ショップスタイリストコース	単 位	1単位
科目コード		科目名	ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表)：高橋 優	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界におけるマーケティングの基礎知識や重要性を理解する。
また、ショップスタイリストの視点から最適な売り場やサービスを提案・実践できる力を習得する。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・オリエンテーション ・マーケティングとは何か？	8	・カスタマージャーニーについて ・ペルソナについて
2	・マーケティングの基礎	9	・有カブランドのカスタマージャーニー リサーチ
3	・マーケティングとブランディングの違い ・SDGsについての復習	10	・有カブランドのカスタマージャーニーの 分析／ディスカッション
4	・マーケティング&ブランディングリサーチ	11	・有カブランドのカスタマージャーニーの 分析／ディスカッション
5	・マーケティング&ブランディングリサーチの 分析／ディスカッション	12	・有カブランドのカスタマージャーニー プレゼンテーション
6	・マーケティング&ブランディングリサーチ プレゼンテーション	13	・WEBマーケティングについて ・SNSマーケティングについて
7	・シーズンMDについて ・有カブランドのシーズンMDリサーチ	14	・まとめ／アンケート実施

【評価方法】

制作物＋出席状況 (5:5)

主要教材図書

参考図書	・「売る力」が身につく 最強マーケティング図鑑	・Q&A マーケティングの基礎 50
	・大学4年間のマーケティングが10時間で学べる	・はじめてのカスタマージャーニーマップ ワークショップ
	・デジタル時代の基礎知識 SNS マーケティング	・いちばんやさしいデジタルマーケティングの教本

記載者氏名 高橋 優

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通科 2 年 ショップスタイリストコース	単 位	3 単位
科目コード	100100	科目名	アパレル商品演習	授業期間	通年

担当教員(代表) : 徳満 真紀	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
アパレルの一部であるファッション小物の売れ筋の商品をリサーチし、企画、制作を学ぶ。
異素材を使用したアパレル制作を通して素材の特徴と扱い、パターン、縫い方のテクニック、着こなしについて理解させる。完成後プレゼンテーション形式の発表会しショップスタイリストのスキルアップを目指す。

【授業計画】

1. 授業内容説明・講義 (1 コマ)

1 単位と評価について

2 製作物について

2. ファッション小物 (エコバック) ・講義・実習・実物作品・レポート・プレゼン (4 コマ)

1 製作条件について

2 市場調査レポート提出

3 作品製作

本縫い (ポケット、持ち手、まちについて)

4 プレゼンテーションクラス内発表

3. 異素材のアパレル製作・講義・実習・実物作品・レポート・プレゼン (35 コマ)

1 製作条件の説明 (素材、縫製、デザインについて)

2 市場調査レポート提出

3 作品の製作

作図及び作図実習 (パターントレース)

裁断、印つけ

仮縫い合わせ

バランス点検 (試着補正)

本縫い

4 レポート スタイリング提案 (プレゼンデータ作成)

5 プレゼンテーションクラス内発表会

【評価方法】 S・A・B・C・F 評価
評価基準 学業評価 60% 授業姿勢 40%

主要教材図書 文化ファッション体系 改訂版ファッション流通講座①
コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ (商品構成) 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局

参考図書

その他資料 実物参考標本、部分標本、プリント

授業の特徴 製作物を通して、接客に必要な素材、デザイン、スタイリング提案に必要な商品演習を理解する。

担当教員紹介 文化服装学院 専任教授

記載者氏名 徳満 真紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通科2年ショップスタイリストコース	単 位	1
科目コード	40000	科目名	アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：吉村 とも子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。講義と演習により理解を深める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1. アパレルと品質管理** 講義 1 コマ
 - ・アパレルに求められる品質
 - ・アパレルの製造工程別管理
- 2. 品質評価試験(実用性試験)と評価** 講義 2 コマ
 - ・品質評価試験の種類および品質基準
 - ・実用性試験
- 3. アパレルの品質表示と法規制** 講義 4 コマ
 - ・義務表示 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程
雑貨工業品表示規程
 - ・関連する法規制 不当景品類及び不当表示防止法
安全性に関わる法規制
製造物責任法 等
- 4. アパレル製品の取扱い** 講義及び実習 5 コマ
 - ・耐洗濯性：家庭洗濯
商業洗濯 ウエットクリーニングとドライクリーニング
 - ・特殊クリーニングについて
 - ・保管条件と繊維害虫
 - ・しみ抜き実験
 - ・手洗い実習
- 5. アパレル製品の保証と製品事故** 講義 1 コマ
 - ・商品の保障
 - ・製品事故の種類と原因・対策

計：13 コマ

評価方法・対象・比重

学業評価＝各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題の評価) 80%
授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など 20%とし、総合評価する

主要教材図書

教科書：ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

吉村とも子 文化女子大学(現文化学園大学)卒業。文化服装学院勤務、現在講師。

記載者書名欄

吉村とも子

科コード	科 名	ファッション流通科 2 年 ショップスタイリストコース	単 位	1
科目コード	科目名	パーソナルメイク	授業期間	前期

担当教員(代表)：夏目 幸恵	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ショップスタイリストとして、さまざまなメイクアップの技術と知識を学び、トータルコーディネート提案の幅を広げる。
美意識・美的センスを養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | | |
|-----|----------------------|---|--------------------------|
| ① ② | スペースbalancing理論 | 雑誌やインターネットから顔の観察、分析 | カルテマップ製作
(講義、実習 2 コマ) |
| ③ | メイクアップの基礎知識 | 用具の使い方・手順・メイクアップの基本展示 | (講義、展示 1 コマ) |
| ④ | メイクアップの基礎知識 | カルテ制作のポイント | (講義、実習 1 コマ) |
| ⑤ | パーソナルメイクⅠ(基本編) | 直線・曲線の眉・口元 描き方 説明 | (講義、展示 1 コマ) |
| ⑥⑦ | パーソナルメイクⅡ(応用編) | イメージ別メイク 直線：フレッシュ・クール
展示・カルテ制作 o r 実習 | (展示、実習 2 コマ) |
| ⑧⑨ | パーソナルメイクⅢ(応用編) | イメージ別メイク 曲線：キュート・エレガント
展示・カルテ制作 o r 実習 | (展示、実習 2 コマ) |
| ⑩ | パーソナルヘアの基礎知識 | ヘアアレンジの基礎展示 | (講義 1 コマ) |
| ⑪ | パーソナルヘアの基礎知識 | ヘアマップの制作 | (実習 1 コマ) |
| ⑫ | コスメ商品の市場 | アパレル業界のコスメ状況の把握 | (講義 1 コマ) |
| ⑬⑭ | 情報収集と分析 実習・プレゼンテーション | | (プレゼン 2 コマ) |

計 14 コマ

評価方法・対象・比重

授業作品評価(ノート課題含む) + 出席状況(学業評価 80% 授業姿勢 20%) [英数字評価]

主要教材図書

参考図書 MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ショップスタイリストとして、さまざまなメイクアップの技術と知識を学び、トータルコーディネート提案の幅を広げ、美意識・美的センスを養う。

記載者書名欄 夏目 幸恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通科2年 ショップスタイリストコース	単 位	1単位
科目コード		科目名	パーソナルカラー	授業期間	前期

担当教員(代表)：桑野恵美	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次の色彩理論・配色作品作りをもとに、ファッション業界の現場、特に販売接客面での「似合う色」の活用を目標に、色を理論的、具体的にアドバイスするビジネススキルを習得する。*パーソナルカラー検定3級・2級に基づく内容

【授業計画】

●パーソナルカラー概論 (2コマ)

- ・オリエンテーション、教材説明
- ・パーソナルカラーの本来の目的や意味、似合う色の定義について
- ・ファッション業界の現状を踏まえたパーソナルカラーの活用法や、ビジネス展開について、特に接客販売面。
- ・「パーソナルアイデンティティ (自分らしさ)」の確立、「自分ブランディング」について (外見と内面の自己実現)
- ・パーソナルカラー検定について

●パーソナルカラーの基本 (2コマ)

- ・パーソナルカラーの色の分け方、見分け方 (色感を身につける) / イメージワードの使い方 (タイプ別カラーマップの作成による実践 / ワードのボキャブラリーを増やす接客のポイント)
- ・色素傾向 (肌・髪・眼の色や質感) の見方、とらえ方
色素チェックの実践 (自分自身、対クライアント)、さまざまなタイプを知る、色素の説明力をつける練習
- ・色素と似合う色の関係性 (色の三属性でとらえる考え方) のセオリー
- ・色素をふまえた第一印象ディスカッション (パーソナルアイデンティティをとらえる / 接客への展開方法)

●ドレーピング分析方法 (3コマ)

- ・分析理論、ドレーピング技法、接客コミュニケーションとしてのドレーピング
- ・グループ別ドレーピング実習 / 顧客対応デモンストレーションと実践ロールプレイ

●コンサルティング手法とアドバイスシートの作成 (3コマ)

- ・パーソナルカラーをテーマにしたアドバイスやコンサルティング接客の理論
プロファイルの作成、読み込み、活かし方、接客コミュニケーションのポイント
(色素をほめる、似合う色を活かす、好きな色や流行色を活かす、配色アレンジをする 等)
→相モデルへの対応、アドバイスの実践を通して自分自身の見せ方も考える
- ・パーソナルカラーをふまえた配色セオリー、配色によるクライアント対応
(アドバイスのコンセプト立て、アドバイスシート作成)

●コーディネート発表、パーソナルカラー活用まとめ (1コマ)

- ・発表 (ドレープを利用した見せ方、配色アレンジ提案、プレゼンテーション) → 講評
- ・まとめ (アドバイスシートの直し、売り場でのパーソナルカラー即実践方法)

●パーソナルカラー検定対策+検定 (3コマ)

- ・出題の重要度に応じたポイントまとめ (色分け、色の表現、色素傾向、配色、素材柄テスト、アドバイス理論)
 - ・出題形式に応じた解き方のポイント、勉強方法 / 過去問題 / オンライントレーニング教材 / オンライン模擬試験
- *上記の内容を、各授業内で適宜組み合わせ、練習やロールプレイを織り交ぜながら進める。

【評価方法】

S~C・F評価 学業評価：50% (カラーマップ作品・アドバイスシート等コーディネート提案資料の作品評価)

授業姿勢50%（ロールプレイ、相モデル実習の取り組み）

主要教材図書

「色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト」3級・2級

その他資料 2級過去問題、オンライン教材、プリント教材、199a 及びその他配色カード

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション・アパレルにおける活動経験を活かし、ファッション業界の現場における「似合う色」の活用を目標に、色を理論的、具体的にアドバイスするビジネススキルの習得を指導する。

記載者氏名 桑野 恵美

2024年度科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッション英会話	授業期間	前期

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今までに学んだ基本的な文法知識を基に、簡単な英語でコミュニケーションをとることを目標とする。少人数クラスの利点を生かし、学生が自主的に英語を話そうとする意欲を涵養する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Unit 1: Self-introduction	演習	1	Unit 25: Adjectives for fashion	演習	1
Unit 8, 9, 10: Review of grammar	演習	1	Unit 27: Structure of a presentation & Sequence connectors (How to make it?)	演習	1
Unit 20: Fashion items	演習	1	Unit 28/29: Large numbers and shopping	演習	1
Unit 21: Colors-Patterns	演習	1	Unit 31: Resume	演習	1
Unit 22: Laundry care	演習	1	Unit 32: Job interview	演習	1
Unit 23/Unit 26: Body and face parts	演習	1	Unit 33: fashion show	演習	1
Unit 24: Presentation	演習	1		演習	

【評価方法】平常点(出席、クラス参加)30%、授業中の小テスト30%、ライティング10%、プレゼンテーション30%の評価基準を用い、S~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書	<i>Essential English for Fashion Students</i> (文化服装学院編)
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB2	科 名	ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	TOEIC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 TOEIC テストでの 600～700 点程度の取得。 またスコアに見合うだけの英語力を身につける。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
コースと TOEIC の概要紹介	演習	1
接尾辞と品詞	演習	1
Part 1 解説と演習	演習	1
Part 2 解説と演習	演習	1
Part 3 解説と演習	演習	1
Part 4 解説と演習	演習	1
接頭辞と意味	演習	1
Part 5 解説と演習(1)	演習	1
Part 5 解説と演習(2)	演習	1
Part 6 解説と演習	演習	1
Part 7 解説と演習(1)	演習	1
Part 7 解説と演習(2)	演習	1
Part 7 解説と演習(3)	演習	1

【評価方法】 学業評価(50%)、授業姿勢(50%)

授業の特徴と担当教員紹介 TOEIC の出題形式に慣れるために、目標レベルにあったテキストでの問題演習を繰り返すことで、Part 毎の出題傾向を捉える。
--

主要教材図書 増補改訂版 はじめての TOEIC L&R テスト 全パート総合対策
参考図書
その他資料

記載者氏名 三村 典召

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

<p>概要</p> <p>ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%</p>

<p>主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント</p> <p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。</p>
--

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択 科目名 選択帽子（布帛）	授業期間	前期

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	単 位	単 位
科目コード	科目名	授業期間	前期

担当教員(代表)：関根 麻里恵

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。

到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。

レベル設定：映画を定期的に鑑賞していて、映画とファッションの関係やジェンダーに興味があり、なおかつそれを知ろうとする向上心のある学生が好ましい。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
第1回 イントロダクション	講義	1
第2回 映画・ファッション・ジェンダーの関係	講義	2
第3回 1910年代-1920年代：サイレント時代	講義	3
第4回 1930年代-1940年代：ハリウッド映画黄金時代	講義	4
第5回 映画作品鑑賞①	講義	5
第6回 1950年代-1960年代前半：娯楽大作主義時代	講義	6
第7回 1960年代後半-1970年代前半：アメリカン・ニューシネマ、パニック映画時代	講義	7
第8回 映画作品鑑賞②	講義	8
第9回 1970年代後半-1990年代前半：ニュー・アメリカン・ドリーム、ビデオ時代	講義	9
第10回 1990年代後半-：CG時代	講義	10
第11回 映画作品鑑賞③	講義	11
第12回 LGBTQ映画とファッション	講義	12
第13回 まとめ	講義	13

【評価方法】

①S～C・F評価。出席（40％）＋コメントシート（10％）＋レポート（50％）

主要教材図書 なし

参考図書

川本恵子『新装版 魅惑という名の衣裳―ハリウッド・コスチュームデザイナー史』株式会社キネマ旬報社、2009年。
村山匡一郎編『映画史を学ぶ クリティカル・ワーズ【新装増補版】』フィルムアート社、2013年。

その他資料 適宜配布

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：ファッションも映画も、その当時の社会的背景や技術に影響をうけて発展・衰退・進化をしているメディアであることを、歴史を踏まえながら理解することで、ファッション、映画双方への理解を深めることができる。

担当教員紹介：専門は表象文化、ジェンダー・セクシュアリティ、文化社会学。ファッション批評誌『vanitas』（アダチプレス、2013年）のほか、『ユリイカ』『現代思想』などに寄稿。共著に『ポスト情報メディア論』（ナカニシヤ出版、2018年）、『「百合映画」完全ガイド』（星海社、2020年）、『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ―私と社会と衣服の関係』（フィルムアート社、2022年）、『ポストヒューマン・スタディーズへの招待―身体とフェミニズムをめぐる11の視点』（堀之内出版、2022年）、共訳に『ファッションと哲学』（フィルムアート社、2018年）がある。（2020年6月現在）

記載者氏名 関根麻里恵

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	2単位
科目コード 980020	リストコース	授業期間	通年
	科目名 特別講義Ⅱ		

担当教員(代表)： 門元 伸子	共同担当者：
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッション業界の現状を講義を通して学び、モノづくりから「価値と価格のバランス」を考える。
 さらに、サービスの現状を現地へ出向き体感する。

1. 特別講義

- ユニバーサルファッション
- 販売員の現状
- プレスの現状
- 革小物製作
- 捺染／抜染について
- アメリカンフラワーアクセサリー制作
- メンズファッションの歴史
- フォーマルウェアの基礎知識
- ネクタイの結び方
- スカーフの巻き方
- オンライン接客(インスタライブ)のノウハウ

等

2. 校外授業

- オリエンタルランドのにおけるサービスの現状
- アミューズメントパークのサービス比較

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示)

評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 門元 伸子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	1単位
科目コード 930020	リストコース	授業期間	前期
科目名 校外研修Ⅱ			

担当教員(代表)： 門元 伸子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
研修旅行を通じ、真のおもてなしとは何かを体験を通して学ぶ。

1. 日程
2024 年 5 月 29－31 日 3 日間
2. 行程（見学先）
 - ホテルグランヴィア大阪 接客応対研修
 - ユニバーサルスタジオジャパン サービスチェック
 - 万博記念公園
 - 大阪市街 市場調査
3. その他
 - 卒業研究、ファッションマーケティングの情報収集としてエリアリサーチを実施

評価方法・対象・比重

履修認定（P表示）

評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 門元伸子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	1～2 単位
科目コード	リストコース	授業期間	年間（任意）
	科目名 インターンシップ a. b		

担当教員（代表）：門元 伸子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）。
現場に身を置き、実務を経験することで、就職前に実社会を体感し、卒業後の「働く」という意識をより高める効果を狙う。

新年度オリエンテーション時説明

- ・ インターンシップ参加希望調査
- ・ キャリア支援室とインターンシップに関する打ち合わせ
- ・ 学生へインターンシップレポートについて説明
 - ①出勤管理票
 - ②日報
 - ③自己評価、他己評価
 - ④まとめ
- ・ 各企業にインターン受入れ可否の交渉（基本的には学生個人が交渉）

新年度～1 月

- ・ インターンシップ実施
- ※35～40 時間が 1 単位（インターンシップ a に該当）
- ※70～80 時間が 2 単位（インターンシップ b に該当）
- ・ インターンシップ終了後、レポートを提出
- ・ 担任がレポートを確認 → 教務への単位付与申請

評価方法・対象・比重

履修認定 S～C・F 評価

評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 門元 伸子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイリストコース	単 位	1単位
科目コード	科目名 イベント実習 a	授業期間	前期

担当教員(代表)：門元 伸子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・コースの特徴を打ち出すイベントを企画する
- ・チームビルディングの実践
- ・「おもてなし」を体現する

新入生歓迎イベント企画

- ・オリエンテーション・趣旨説明
新入生歓迎イベントの趣旨、コースとしての特徴を生かした企画立案
- ・個人企画プレゼンテーション
投票により、コースとしてのイベント決定
- ・イベント準備制作
チームビルディングを目的とし、ひとり一人が「誰かのために何ができるか」を考え行動する能力を養う
- ・イベント開催
おもてなしの体現
積極的に1年生へ接客を行い、自信の接客スキル向上を目指す
- ・振り返り
実施後、振り返りを行いGood Point・VerUP Pointを考える
次年度への申し送りとしてまとめる

評価方法・対象・比重 授業態度 50%・出席率 25%
S～C・F評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 門元 伸子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	2
科目コード	科目名 イベント実習 b	授業期間	後期集中（自由選択）

担当教員(代表) : 木本 晴美	共同担当者 : 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
---------------------	--

教育目標・レベル設定など
自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 顔合わせ 検討会 4 コマ 講義・実習
 - ・各パート係選出・決定
 - ・各パートにて検討会
- 各パート実働 12 コマ 実習・点検
 - ・各パート活動を通してファッションショーの仕組みと効果的な演出方法を学ぶ
 - ・各シーンでのフィッティング点検
 - ・エフェクト(音楽・照明・映像)点検
- 準備 リハーサル 9 コマ 実習・点検
 - ・各パートでの実習 準備リハーサル
- 本番 4 コマ 実習
 - ・各パートでの実働
- 反省会 片付け 1 コマ 実習・まとめ
 - ・各パート片付け・反省会

評価方法・対象・比重
S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位 1
科目コード	科目名 イベント実習 c	授業期間 後期集中(自由選択)

担当教員(代表): 木本 晴美	共同担当者: 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
--------------------	---

教育目標・レベル設定など

自由選択で行うイベント実習での企画運営。イベントの企画立案を学び、イベントの構築を行う。
ファッションイベント制作での個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力を養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●企画立案

・企画スタッフ公募

学生個々で企画立案レポート作成 1 コマ 実習

・テーマ設定

テーマの検討・決定 3 コマ実習・点検

・シーン設定

シーンの検討・決定 4 コマ実習・点検

・プロモーション

プレスリリース案検討・決定 2 コマ実習・点検

・各シーン内容の構築

各シーンについての内容細部検討 4 コマ

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RD2	科 名 ファッション流通科2年 ショップスタイ	単 位	4単位
科目コード	リストコース	授業期間	通年
	科目名 卒業制作		

担当教員(代表)：門元 伸子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1 年間の学びの集大成として、卒業後ショップスタイリストとして働く際のひとつのルールブックとして活用できるレポートを作成し、体得した接客スキルをロールプレイング大会として発表する。

共通テーマ：今後の販売員の在り方を考える

サブテーマ：各自で設定する

- 1 市場調査によるサービスチェック・プレゼンテーション
- 2 過去のロールプレイング大会を視聴し、「おもてなしとは何か」を考える
視聴大会：日本百貨店協会主催ロールプレイング大会・PAL ファンデーションカップ（2019・2022 年大会）
- 3 理想の販売員とは（グループディスカッション）
- 4 これからの販売員の在り方
サブテーマを決め、レポート作成
- 5 接客応対ロールプレイング大会
外部審査員を招き、予選を勝ち抜いた 8 名が本選出場
*予選 2025/1/20、1/27 本選 2025/2/3 予定
会場 SHOP 実習室（予定）
外部審査員 小林章子先生 *他数名交渉中

評価方法・対象・比重 レポート 20% プレゼンテーション 25%・ロールプレイング 25%・出席率／授業態度 25%
S～C・F評価
担任による採点がメイン、クラス内の評価表による加点あり。

主要教材図書
参考図書
その他資料
授業の特徴と担当教員紹介
記載者氏名 門元 伸子